

1 基本項目	事務事業名	新川学びの森天神山交流館運営事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	交流館運営費					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	学びの森天神山交流館費	
		基本事業名	基本事業30-1. 学び続ける環境づくり				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	(一財)魚津市施設管理公社を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を広く市民に提供する。
	対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(一財)魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。
	意図(成果指標)	施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 施設経費	円	49,170,480	49,347,116	50,780,000	51,355,040	101.1%	48,057,000
	② 自主事業実施回数	回	154	254	165	218	132.1%	136
成果	① 利用件数	件	6,598	6,719	7,600	6,915	91.0%	7,600
	② 利用者数	人	48,595	48,757	58,000	47,739	82.3%	58,000

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	49,170,480	49,347,116	51,386,960	51,355,040	4.1%	48,057,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	2,362,851	533,410	495,000	430,253	-19.3%	416,000
	⑤一般財源	円	46,807,629	48,813,706	50,891,960	50,924,787	4.3%	47,641,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	50.0%	2
	②年間所要時間	時間	600	300	300	580	93.3%	500
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	1,208,100	1,208,100	2,335,660	93.3%	2,013,500
総費用(A+B)	円	51,586,680	50,555,216	52,595,060	53,690,700	6.2%	50,070,500	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。</p> <p>○学びの森天神山交流館の大研修室の暖房は、ボイラーの熱を利用したパネルヒーターを利用しているが、平成32年には、ボイラーの熱源であるA重油の貯蔵タンクが腐食の恐れの高いタンクとなる。費用面をトータル的に考えて大研修室のエアコンを順次、冷暖房の個別エアコンに取り換えていくこととした。平成29年度は、大研修室2部屋の空調設備を更新した。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	C	C	進め方の改善でなく内容の見直しが必要	①自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	内容の見直しとまではいかず進め方に改善が必要	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	2 検討の余地あり	
				③上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持</p> <p>○事業の拡充</p> <p>○事業の縮小</p> <p>○統合等の検討</p> <p>○終了又は廃止・休止</p>	<p>方針の説明等</p> <p>既存の利用者に対する利便性の向上に努めるほか、指定管理者による自主事業の充実や多様な団体等への利用の働きかけにより利用者の拡大を図る必要がある。</p>	2次評価		

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	音楽のまちづくり推進事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興			目	学びの森天神山交流館費	
		基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
		根拠法令				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)	
		アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)			集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。 また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児
	手段(活動指標)	「おんがく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	意図(成果指標)	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 事業数	件	29	54	40	34	85.0%	40	
	② 事業支援数	件	2	2	2	2	100.0%	2	
	成果	① 音楽事業参加者数	人	2,780	3,621	3,000	3,472	115.7%	3,500
		② 芸術文化に触れる機会が多いと思う市民の割合	%	27.7	29.4	31.0	28.4	91.6%	34.0

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,836,995	2,904,949	2,720,000	2,719,718	-6.4%	2,720,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	74,000	43,000	80,000	107,500	150.0%	80,000
	⑤一般財源	円	2,762,995	2,861,949	2,640,000	2,612,218	-8.7%	2,640,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	2	2	3	50.0%	3
	②年間所要時間	時間	100	120	120	460	283.3%	500
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	402,700	483,240	483,240	1,852,420	283.3%	2,013,500
総費用(A+B)	円	3,239,695	3,388,189	3,203,240	4,572,138	34.9%	4,733,500	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○「おんがく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。 市民のためのクラシック講座「オーケストラの楽しみ方Part2」を7月2日に、「オペラの楽しみ方」を1月21日に開催した。市民のための出前コンサートを7月1日、12月10日、1月27日に実施した。小中学生のための音楽推進事業として、小学校では、辻秀幸氏による歌唱指導や卒業式に向けての合唱指導、アウトリーチ演奏、朗読と馬頭琴コンサートを行った。中学校では、中学校の合唱祭に向けての指導、西部中学校における合唱祭での審査やミニコンサートを行った。 ○とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援した。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
② 目的の妥当性						1 妥当である
③ 対象の妥当性						1 妥当である
有効性	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	1 高い
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	小学生から音楽に親しむ機会を作ることで、情操教育にも効果が上がってきている。今後は市民のニーズを把握し、事業内容の見直しを図るとともに、事業の周知に取り組む必要がある。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	新川文化ホール管理事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	新川文化ホール管理費				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成6年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
	画	政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興			目	新川文化ホール費	
		基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
		根拠法令				総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)			集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。
	対象	市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。
	意図(成果指標)	施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 利用件数	件	3,208	2,906	3,300	2,699	81.8%	3,300
	② 利用料金	円	14,635,773	14,068,431	15,136,000	13,344,537	88.2%	15,136,000
	① 展示ホール利用率	%	55	59	71	62	87.3%	70
	② 和室・会議室利用率	%	30.0	26.0	35.0	23.3	66.6%	30.0

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	78,144,560	83,829,680	102,495,000	99,672,804	18.9%	94,895,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円		246,456				
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	201,324	172,870	880,000	173,183	0.2%	172,000
人件費	⑤一般財源	円	77,943,236	83,410,354	101,615,000	99,499,621	19.3%	94,723,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	50.0%	3
	②年間所要時間	時間	440	460	460	540	17.4%	500
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	1,771,880	1,852,420	1,852,420	2,174,580	17.4%	2,013,500
総費用(A+B)	円	79,916,440	85,682,100	104,347,420	101,847,384	18.9%	96,908,500	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき、指定管理者((公財)富山県文化振興財団)へ指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。</p> <p>○魚津市民文化祭(10月21日、22日)、第57回魚津市美術展(11月3日~11月8日)を開催した。</p> <p>○照明制御設備更新、やまなみホールロールスクリーン更新、会議室棟の乗用エレベーター制御盤更新、外構樹木高木剪定を実施。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	①目標達成度	3 低い・未実施	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持</p> <p>○事業の拡充</p> <p>○事業の縮小</p> <p>○統合等の検討</p> <p>○終了又は廃止・休止</p>	方針の説明等	<p>市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者と協議していかねばならない。</p> <p>平成30年度は、指定管理者の更新作業を行うことから、その中で成果向上の提案を求める。</p>	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	芸術文化振興事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連あり		

2 事業概要	事業概要	市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。	
	対象	①市民、②市内文化団体(文化協会、市美協)、③市内小中学生	
	手段(活動指標)	国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。	
	意図(成果指標)	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 国県等の補助事業開催数	件	5	5	5	4	80.0%	5	
	② 中学校文化連盟事業	件	12	12	12	12	100.0%	12	
	成果	① 文化祭への参加人数	人	5,999	4,541	6,000	4,698	78.3%	6,000
		② 市美展出品数(一般、招待)	点	219	205	240	213	88.8%	240

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	709,628	729,508	1,027,000	956,400	31.1%	1,311,000	
	財源内訳	① 国庫支出金	円						
		② 県支出金	円						
		③ 地方債	円						
		④ その他(使用料、雑入等)	円	53,567	53,861	82,000	32,964	-38.8%	61,000
⑤ 一般財源		円	656,061	675,647	945,000	923,436	36.7%	1,250,000	
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	50.0%	2	
	② 年間所要時間	時間	440	440	440	600	36.4%	500	
	③ 人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	1,771,880	1,771,880	1,771,880	2,416,200	36.4%	2,013,500	
総費用(A+B)	円	2,481,508	2,501,388	2,798,880	3,372,600	34.8%	3,324,500		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○国県等の補助事業を利用した公演(文化芸術による子供の育成事業等)を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。</p> <p>○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。文化協会主催の「森井勇氏講演会」、市美協主催の「第18回会員展」等を支援した。</p> <p>○大平山濤作品「ゆきどけ」の修繕を行った。</p> <p>○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	② 目的の妥当性
有効性	B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である	① 目標達成度	2 目標どおり	
効率性	C	C	実施主体と内容の見直しが必要	② 類似事業の有無	2 検討の余地あり	③ 上位施策への貢献度	1 高い	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	① コスト効率	2 普通	② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり	不要	
					2次評価			

1 基本項目	事務事業名	スポーツ推進委員事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	スポーツ推進委員事業				係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	昭和36年	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	10 教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	6 保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				目	1 保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	市町村におけるスポーツ振興のため、スポーツ推進委員を配置し、住民に対しスポーツの実技の指導や助言を行うとともに、スポーツ推進委員を対象に指導技術の向上のための研修を行っている。
	対象	市民、スポーツ推進委員
	手段(活動指標)	・スポーツ推進委員協議会及び同四部会の開催 ・特別研修会の開催 ・全国及び地区研修会への派遣 ・スポーツ行事及び事業の開催、協力
	意図(成果指標)	市民がよりスポーツに親しみ、取り組むようにする。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 市主催スポーツ行事におけるスポーツ推進委員協力延べ人数	人	179	234	240	205	85.4%	240	
	② 市主催のスポーツ行事協力依頼数	回	5	5	5	9	180.0%	8	
	成果	① 週に1回以上スポーツをする人の割合	%	25.9	29.6	39.0	45.0	115.4%	46.0
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	2,331,358	2,217,898	2,309,000	2,300,698	3.7%	2,345,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	2,331,358	2,217,898	2,309,000	2,300,698	3.7%	2,345,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	200	840	840	840	0.0%	840	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	805,400	3,382,680	3,382,680	3,382,680	0.0%	3,382,680	
総費用(A+B)	円	3,136,758	5,600,578	5,691,680	5,683,378	1.5%	5,727,680		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員協議会及び同四部会の開催、スポーツ行事企画会議の開催(年10回以上) ・スポーツ推進委員資質向上のための研修会の開催(実技研修及び講演会) ・全国、北陸地区研修会参加 ・うおづスポレク祭、ユニホック交流大会の開催 ・市及び体育協会主催行事協力 ・ニュースポーツ出前講習の開催 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A		A	特に問題なし	
有効性		A	A	②目的の妥当性	1 妥当である		
				③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	2 目標どおり		
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	2 普通		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	②実施主体の適正化	1 適正である		
	1次評価	今後の方針		<input type="radio"/> 現状を維持 <input type="radio"/> 事業の拡充 <input type="radio"/> 事業の縮小 <input type="radio"/> 統合等の検討 終了又は廃止・休止	市民がよりスポーツに親しめる環境づくりに重要な役割を果たしており、今後も継続して取り組む必要がある。	③負担割合の適正化	1 適正である
2次評価			不要				

1 基本項目	事務事業名	市民スポーツ奨励事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	市民スポーツ奨励事業				係名	スポーツ係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度		当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち			予算科目	款	10. 教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	6. 保健体育費	
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				目	1. 保健体育総務費	
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	生涯スポーツを推進する事業(うおづスポーツレクリエーション事業の実施、生涯スポーツサポートなど)の実施、市民が参加する大会や高いレベルの競技大会の開催に対する補助金交付。	
	対象	スポーツを愛好する市民	
	手段(活動指標)	○うおづスポーツレクリエーション事業の実施 ○市民スポーツ大会・教室の開催に対する補助 ○市内外からの選手、チームが参加する全国規模的な大会開催への補助	
	意図(成果指標)	定期的にスポーツ活動を実践する市民を増やす。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 補助大会・教室数	回	25	25	25	25	100.0%	25
	② 生涯スポーツサポート事業実施地区	地区						2
成果	① 週に1回以上スポーツをする人の割合	%	25.9	29.6	39.0	45.0	115.4%	46.0
	② 総合型地域スポーツクラブ会員数	人	3,041	3,097	4,200			4,300

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,927,997	2,322,609	1,762,000	1,742,930	-25.0%	1,719,000
	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円				13,000		
人件費	⑤ 一般財源	円	1,927,997	2,322,609	1,762,000	1,729,930	-25.5%	1,719,000
	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	400	940	940	700	-25.5%	700
	③ 人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	1,610,800	3,785,380	3,785,380	2,818,900	-25.5%	2,818,900
総費用(A+B)	円	3,538,797	6,107,989	5,547,380	4,561,830	-25.3%	4,537,900	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ大会の開催(25大会) 市民スポーツ教室の開催 うおづスポーツレクリエーション事業の開催 市民スポーツ地区対抗事業の実施 県の「元気とやまスポーツライフ事業」を活用し、幼児期の運動遊び指導者研修会を開催(計2回) 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
効率性	A	A	特に問題なし	② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
				① コスト効率	1 高い		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
1次評価	現状を維持	方針の説明等	各種スポーツ大会や教室を支援することは、市民スポーツの振興策として有効であるが、さらに多くの市民がスポーツ活動に参加するよう工夫する必要がある。	2次評価		不要	
今後の方針	○事業の拡充						
	事業の縮小						
	統合等の検討						
	終了又は廃止・休止						

1 基本項目	事務事業名	学校体育施設開放事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	学校体育施設開放事業					係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	昭和50年度	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				予算科目	款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令	スポーツ基本法				総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	最も身近なスポーツ施設である学校体育施設(20施設)を、スポーツ利用のため夜間開放する。
	対象	市民、施設
	手段(活動指標)	管理指導員の任命と活用する施設の修繕等により、より多くの開放が行えるようにする。
	意図(成果指標)	多くの住民が、スポーツやレクリエーションに取り組めるようになる。

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 開放施設数	施設	23	20	20	20	100.0%	20
	②							
成果	① 利用者数	人	45,594	39,642	50,000	35,458	70.9%	40,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,724,688	1,907,383	2,056,000	1,774,980	-6.9%	2,048,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	250,400	206,600	200,000	190,100	-8.0%	200,000
	⑤一般財源	円	1,474,288	1,700,783	1,856,000	1,584,880	-6.8%	1,848,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	100	80	80	80	0.0%	80
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	402,700	322,160	322,160	322,160	0.0%	322,160
総費用(A+B)	円	2,127,388	2,229,543	2,378,160	2,097,140	-5.9%	2,370,160	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	(1) 管理指導員の任命：①地区体育振興会、体育協会へ管理指導員の推薦を依頼、②推薦により任命：任命状交付 (2) 開放状況の把握：①報告書提出依頼(各施設の主任管理指導員)、②報告の取りまとめ (3) 施設の維持管理及び各種連絡調整	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	地域におけるスポーツ活動の拠点となる最も身近な体育施設であり、今後も利用を推進する必要がある。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	体育施設管理事務				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	体育施設管理費					係名	スポーツ係		
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046		
	事業期間	開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続		会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				予算科目	款	10教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6保健体育費	
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	2体育施設費	
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令						総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。 1. 対象施設：天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園 2. 指定管理者制度による維持管理、運営 H18.4.1から(公財)魚津市体育協会	
	対象	市民、管理施設(天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園)	
	手段(活動指標)	(公財)魚津市体育協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕(規模が大きく金額で300千円以上)等を行った。	
	意図(成果指標)	事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 施設修繕(300千円以上)	件	3	1	1	5	500.0%	5
	②							
	① 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	25.9	29.6	40.0	45.0	112.5%	45.0
	② 対象スポーツ施設の利用者数	人	249,708	228,179	225,800	220,802	97.8%	220,000

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	261,574,228	113,282,640	123,624,000	117,893,634	4.1%	211,084,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	129,896,473	620,943	695,000	599,827	-3.4%	685,000
	⑤一般財源	円	131,677,755	112,661,697	122,929,000	117,293,807	4.1%	210,399,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	600	1,020	1,020	600	-41.2%	800
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	4,107,540	4,107,540	2,416,200	-41.2%	3,221,600
総費用(A+B)	円	263,990,428	117,390,180	127,731,540	120,309,834	2.5%	214,305,600	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。 天神山野球場便所 バリアフリー化改修工事 温水プール 熱交換器更新工事 テニスコート 照明灯具修繕 温水プール バルブ交換工事 温水プール ガス給湯器交換工事	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
②目的の妥当性				1 妥当である				
③対象の妥当性				1 妥当である				
有効性	A	C	事業の統合等の見直しが必要	①目標達成度	2 目標どおり			
				②類似事業の有無	3 あり			
				③上位施策への貢献度	1 高い			
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い			
				②実施主体の適正化	1 適正である			
				③負担割合の適正化	1 適正である			
1次評価	結果(課長総括)	A	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	不要			
	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 <input type="radio"/> 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等		2次評価	公共施設再編方針に基づく総合体育館の廃止とそれに伴う影響及び対策を整理する必要がある。		

1 基本項目	事務事業名	市民体育大会・県民体育大会事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	市民体育大会・県民体育大会事業					係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				予算科目	款	10. 教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6. 保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	1. 保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-2. 選手・指導者の育成と支援					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	○市民体育大会の開催：市民にスポーツを普及・振興し、心身の健康並びに体力の増進及び競技力の向上を図り、明るく豊かな生活の推進に寄与することを目的として開催する。 ○県民体育大会に参加する選手への選手派遣事務を行う。	
	対象	スポーツを愛好する市民	
	手段(活動指標)	○市民体育大会の開催 ○県民体育大会・冬季市民体育大会参加選手の派遣業務	
	意図(成果指標)	ア. 練習成果を発揮する場を提供することで、生涯スポーツの振興を図る。 イ. 県民体育大会に参加する選手に対する交通費等の補助をすることで、競技意欲、及び競技レベルの向上を図る	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 市体総合開会式の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1	
	② 県民体育大会(2部・3部)の参加者(派遣選手)数(延べ人数)	人	617	669	800	713	89.1%	800	
	成果	① 県民体育大会(2部)の順位(一般)	位	10	8	5	8	160.0%	5
		② 県民体育大会(2部)の順位(中学)	位	10	9	6	12	200.0%	8

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計(A)	円	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0.0%	2,500,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0.0%	2,500,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	500	300	300	200	-33.3%	200	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,013,500	1,208,100	1,208,100	805,400	-33.3%	805,400	
総費用(A+B)	円	4,513,500	3,708,100	3,708,100	3,305,400	-10.9%	3,305,400		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○市民体育大会の開催(21種目)：市民体育大会各競技の開催準備及び総合開会式式典運営を魚津市体育協会に委託 ○県民体育大会への選手派遣(941人)：県体育協会への出場申込み事務、選手派遣の交通費補助の事務を魚津市体育協会に委託	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	市民体育大会は、多くの市民がスポーツに親しみ、生きがい、健康づくりに取り組むために大きな役割を果たしており、継続して取り組む必要がある。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	選手強化育成・優秀選手派遣事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	選手強化育成事業・優秀選手派遣事業					係名	スポーツ係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046
	事業期間	開始年度	平成4年度以前	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	10. 教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	6. 保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				目	1. 保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-2. 選手・指導者の育成と支援				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令					総合戦略との関連	関連なし
		アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	(1) 選手強化育成事業：①優秀チームの招聘、県外遠征、指導者講習会の開催により小中学生を中心とするジュニア期からの、競技力、指導資質の向上を図る。②県駅伝競走大会において、選手強化・選考、大会への選手派遣業務を行う。(2) 優秀選手派遣事業：①国、県及び魚津市を代表してスポーツ大会に出場する選手等に対して、激励金を支給する。②中学校体育連盟が主催するスポーツ大会に出場する選手に対し、派遣に係る経費の一部を補助する。
	対象	(1) 選手強化育成事業：主に小中学生の競技スポーツ選手、(2) 優秀選手派遣事業：全国大会および北信越大会等地域の代表として出場する競技スポーツの選手
	手段(活動指標)	(1) 選手強化育成事業委託 魚津市体育協会、魚津市陸上競技協会に委託する。 (2) 優秀選手派遣事業 広報等により市民に事業内容を周知し対象選手に申請をしてもらう。
	意図(成果指標)	・競技スポーツ選手の技術、能力の向上。 ・優秀な成績を挙げ、全国大会等に出場する選手の増加。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 激励金申請件数	件	173	221	250	217	86.8%	250	
	② 中体連スポーツ大会出場人数	人	406	329	400	400	100.0%	400	
	成果	① 全国大会出場者数	人	171	169	180	233	129.4%	240
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	5,527,360	4,482,050	5,780,000	5,422,129	21.0%	5,016,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	5,527,360	4,482,050	5,780,000	5,422,129	21.0%	5,016,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	200	640	640	880	37.5%	640
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	805,400	2,577,280	2,577,280	3,543,760	37.5%	2,577,280
総費用(A+B)	円	6,332,760	7,059,330	8,357,280	8,965,889	27.0%	7,593,280	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>(1) 選手強化育成事業委託</p> <p>①選手強化事業 魚津市体育協会へ委託</p> <p>②富山県駅伝競走大会選手強化事業 魚津市陸上競技協会へ委託</p> <p>(2) 優秀選手派遣事業</p> <p>①市広報において代表として出場する場合に激励金の交付がある旨の記事を掲載</p> <p>②激励金交付申請を受付し、内容確認後対象者へ案内、激励金を交付する。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	A	A	特に問題なし	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	1 高い	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	①コスト効率	1 高い	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	本事業の激励金の交付により全国大会等への参加の負担を軽減するとともに、選手強化事業の委託や専門的な指導者の派遣により、中学生の競技力の向上を図る必要がある。	③負担割合の適正化	1 適正である	2次評価	不要

1 基本項目	事務事業名	中学校部活動活性化事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	中学校部活動活性化事業					係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	平成12年頃	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	10教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	6保健体育費	
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				目	1保健体育総務費	
		基本事業名	基本事業33-2. 選手・指導者の育成と支援				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	中学校において、スポーツの専門的な技術、指導力を備えた教員がいない運動部に対して、その能力を有する外部指導者を派遣することにより競技力の向上を図る。 ア. 派遣要望の把握 イ. 派遣指導者の委嘱 ウ. 謝金支払 エ. 県補助関係事務(申請、実績報告)	
	対象	運動部に所属する中学生	
	手段(活動指標)	ア. 派遣要望の把握 イ. 派遣指導者の委嘱 ウ. 謝金支払 エ. 県補助関係事務(申請、実績報告)	
	意図(成果指標)	競技力の向上	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 派遣指導者数	人	12	12	12	12	100.0%	10
	② 指導回数	回	360	360	360	360	100.0%	300
成果	① 県民体育大会の順位	位	10	9	6	12	200.0%	8
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	720,000	741,550	743,000	740,900	-0.1%	619,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	192,000	192,000	192,000	192,000	0.0%	160,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	528,000	549,550	551,000	548,900	-0.1%	459,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	100	180	180	100	-44.4%	100
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	402,700	724,860	724,860	402,700	-44.4%	402,700
総費用(A+B)	円	1,122,700	1,466,410	1,467,860	1,143,600	-22.0%	1,021,700	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	ア. 派遣要望の把握 イ. 派遣指導者の委嘱 ウ. 謝金支払 エ. 県補助関係事務(申請、実績報告)	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性		B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	3 低い・未実施
					①類似事業の有無	2 検討の余地あり	②上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い	②実施主体の適正化	1 適正である	
				②負担割合の適正化	1 適正である			
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要			
	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 ○事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	中学校において、スポーツの専門的な技術、指導力を備えた教員が少なくなっており、運動部に対して、その能力を有する外部指導者を派遣することにより競技力の向上を図る必要がある。	2次評価			

1 基本項目	事務事業名	生涯学習教室等事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	生涯学習教室等事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和50年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
		基本事業名	基本事業30-1. 学び続ける環境づくり				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習フェスティバルを開催する。 市民の教養を高めることを目的に、市民教養講座ハートフルセミナーを開催する。
	対象	市民
	手段(活動指標)	習い事などの生涯学習活動を始めたい人のニーズに沿った講座を設ける。
	意図(成果指標)	講座受講をきっかけに、生涯学習に取り組む人が増える。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 開催教室数	教室	11	12	12	9	75.0%	12	
	② ハートフルセミナー	回	2	1	2	1	50.0%	1	
	成果	① 受講者数	人	112	106	100	88	88.0%	100
		② ハートフルセミナー参加者数	人	79	57	80	22	27.5%	40

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	520,349	429,822	709,000	452,399	5.3%	690,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円		128,000	200,000	124,500	-2.7%	200,000
	⑤一般財源	円	520,349	301,822	509,000	327,899	8.6%	490,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	300	240	240	200	-16.7%	240	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	1,208,100	966,480	966,480	805,400	-16.7%	966,480	
総費用(A+B)	円	1,728,449	1,396,302	1,675,480	1,257,799	-9.9%	1,656,480		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○初心者を対象とした生涯学習教室を9教室開催し、88名が受講した。</p> <p>○生涯学習教室や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。【開催日】平成30年3月11日【場所】新川学びの森天神山交流館</p> <p>○市民教養講座ハートフルセミナーを1回開催した。</p> <p>・越中三大大山松倉城跡発掘調査報告会【開催日】3月11日【場所】新川学びの森天神山交流館【参加者数】22名</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	C	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	①目標達成度	3 低い・未実施	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持</p> <p>○事業の拡充</p> <p>○事業の縮小</p> <p>○統合等の検討</p> <p>○終了又は廃止・休止</p>	方針の説明等	市が主催する生涯学習教室は、生涯学習のきっかけづくりであることから、さらに、新規受講生が入りやすい環境整備を進める。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	女性教育事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	女性教育事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
		基本事業名	基本事業30-2. 地域の教育力の向上				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	各地区婦人会からなる市連合婦人会の活動を通じて女性の社会参加を促す。	
	対象	魚津市連合婦人会の会員	
	手段(活動指標)	連合婦人会として社会活動に参加する。	
	意図(成果指標)	活動への参加を通じて女性が能力を発揮することができる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 魚津市連合婦人会活動数	回	18	18	17	17	100.0%	16	
	② 会員数	人	270	229	230	208	90.4%	260	
	成果	① 婦人会事業参加者数(延べ)	人	701	732	800	755	94.4%	800
		② 国内研修参加者数	人	36	30	20	34	170.0%	35

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	450,000	450,000	450,000	450,000	0.0%	450,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	450,000	450,000	450,000	450,000	0.0%	450,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1	
	②年間所要時間	時間	60	40	40	60	50.0%	60	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	241,620	161,080	161,080	241,620	50.0%	241,620	
総費用(A+B)	円	691,620	611,080	611,080	691,620	13.2%	691,620		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○魚津市連合婦人会へ補助金を交付した。</p> <p>○婦人会では、婦人会だよりの発行(年1回)、国内研修の実施、環境フェスティバルをはじめ各種行事への参加等の活動をした。</p> <p>○魚津市連合婦人会と魚津市長、魚津市教育委員会教育長ほか関係職員との意見交換会を実施した。(平成30年3月22日)</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	C	B		進め方等の改善が必要	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	内容の見直しとまではいかず進め方に改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である		
				③対象の妥当性	2 検討の余地あり		
				①目標達成度	2 目標どおり		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	2 検討の余地あり		
				③上位施策への貢献度	2 普通		
				①コスト効率	2 普通		
結果(課長総括)	B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり	②実施主体の適正化	1 適正である		
				③負担割合の適正化	2 改善の余地あり		
1次評価	今後の方針	方針の説明等	地域社会での女性リーダーに求められる役割はますます高まってきており、会員や組織の減少に歯止めがかからない中で活動の在り方について検討する必要がある。	2次評価	不要		

1 基本項目	事務事業名	青少年教育事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	青少年教育事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和48年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
		基本事業名	基本事業30-2. 地域の教育力の向上				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	魚津市の青少年の健全育成推進を図る。
	対象	魚津市内の青少年。市民。
	手段(活動指標)	市少年補導員による補導巡回活動。青少年関係の研修会の開催。啓発キャンペーンや機関誌発行による広報。
	意図(成果指標)	青少年の非行を防止する。市民の青少年健全育成に対する意識を向上させ、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 成果	① 青少年育成魚津市民会議事業数	回	10	11	10	11	110.0%	11
	② 魚津市少年補導センター街頭補導回数	回	31	69	90	30	33.3%	90
	① 市民会議事業・街頭補導・推進指導員活動数	数	49	86	60	47	78.3%	60
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	891,951	869,053	866,000	856,010	-1.5%	865,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	891,951	869,053	866,000	856,010	-1.5%	865,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	600	600	600	560	-6.7%	600
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	2,416,200	2,416,200	2,255,120	-6.7%	2,416,200
総費用(A+B)	円	3,308,151	3,285,253	3,282,200	3,111,130	-5.3%	3,281,200	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の青少年の非行・被害防止に取り組む運動一斉啓発キャンペーン(7月) ・地域ふれあい事業(5~10月) ・家庭の日図画・ポスター作品展示会(11月) ・魚津市少年補導センター一斉街頭補導(11月) ・子ども・若者育成支援強調月間特別研修会(11月) 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定	
	妥当性	妥当性	C		C	進め方の改善でなく内容の見直しが必要	①自治体関与の妥当性
有効性		B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性		1 妥当である
					③対象の妥当性		1 妥当である
					①目標達成度		2 目標どおり
効率性	B	B	内容の見直しとまではいかず進め方に改善が必要	②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	2 普通		
				①コスト効率	1 高い		
結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	2 改善の余地あり		
				③負担割合の適正化	2 改善の余地あり		
1次評価	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	青少年を取り巻く環境は急激に変化しており、家庭・地域・行政が連携し社会全体で青少年の健全育成に取り組む必要がある。	2次評価	不要	
		事業の拡充					
		事業の縮小					
		統合等の検討					
		終了又は廃止・休止					

1 基本項目	事務事業名	歴史民俗博物館企画展事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	歴史民俗博物館企画展事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和62年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	歴史民俗博物館費	
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	常設展とは別に、テーマを設けて展示を行う企画展を開館期間中に2回実施する。	
	対象	市民、県内外観光客	
	手段(活動指標)	企画展の開催	
	意図(成果指標)	地元魚津の歴史や今も伝わる貴重な文化財を知ることができる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 企画展の開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	1
	②							
成果	① 企画展の入館者数	%	2,586	5,106	3,000	6,026	200.9%	3,500
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	908,514	962,574	1,256,000	840,178	-12.7%	1,000,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円	908,514	962,574	1,256,000	840,178	-12.7%	1,000,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	600	600	600	500	-16.7%	600
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	2,416,200	2,416,200	2,013,500	-16.7%	2,416,200
	総費用(A+B)	円	3,324,714	3,378,774	3,672,200	2,853,678	-15.5%	3,416,200

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	企画展「魚津のタテモン行事」展及び「明治時代の魚津」展を開催。市内の小学6年生を対象に企画展の見学会を実施。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	妥当性	A		A	特に問題なし		①自治体関与の妥当性
有効性		A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性		1	妥当である
					③対象の妥当性		1	妥当である
効率性		B	B	進め方等の改善が必要	①目標達成度	2	目標どおり	
					②類似事業の有無	1	なし	
	③上位施策への貢献度				2	普通		
結果(課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2	普通		
				②実施主体の適正化	1	適正である		
1次評価	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等 展示内容の見直しや収蔵品の活用などにより博物館の魅力を高める必要がある。	2次評価	不要			

1 基本項目	事務事業名	文化財保護団体育成事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保護団体育成事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興			目	文化費	
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
		根拠法令				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)	
		アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連あり	

2 事業概要	事業概要	指定無形民俗文化財の保存団体の実施する事業について、魚津市より補助金を交付し、文化財の保存・継承に必要となる活動や魚津の歴史を研究する歴史同好会の活動について支援する。
	対象	指定無形民俗文化財保存団体。魚津市の歴史を調査研究する団体。
	手段(活動指標)	各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。
	意図(成果指標)	保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 指定無形民俗文化財保護団体の維持	件	5	5	5	5	100.0%	5	
	②								
	成果	① 保存・継承されている無形民俗文化財の数	件	5	5	5	5	100.0%	5
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	274,240	989,520	300,000	300,000	-69.7%	3,006,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	274,240	989,520	300,000	300,000	-69.7%	3,006,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	3	50.0%	3
	②年間所要時間	時間	240	100	100	260	160.0%	240
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	966,480	402,700	402,700	1,047,020	160.0%	966,480
総費用(A+B)	円	1,240,720	1,392,220	702,700	1,347,020	-3.2%	3,972,480	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	市指定の無形民俗文化財保持団体への事業補助。 全国山・鉾・屋台保存連合会総会へ出席。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	2 普通	
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	文化財保存団体も高齢化の進展により、活動の維持が難しくなっており、今後も継続して補助していく必要がある。	③負担割合の適正化	1 適正である	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	遺跡調査事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	遺跡試掘調査事業				係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興			目	文化費
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令				総合戦略との関連	関連なし
		アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	開発対象区内にある埋蔵文化財包蔵地において、遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行う。埋蔵文化財包蔵地の範囲確認のための、分布調査を実施する。松倉城跡の詳細調査を実施する。
	対象	開発対象地区内にある埋蔵文化財包蔵地等。
	手段(活動指標)	埋蔵文化財包蔵地内で開発行為が行われる場合には試掘調査を実施する。また、市内の埋蔵文化財包蔵地の分布調査や松倉城跡の詳細調査を実施する。
	意図(成果指標)	試掘結果に基づき、開発予定地内における本発掘調査の有無について判断する。市内分布調査についてはその結果の報告書を刊行する。松倉城跡の調査については、調査結果を取りまとめ、松倉城跡詳細調査指導委員会で報告する。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 試掘調査実施件数	件	3	2	2	2	100.0%	2	
	② 分布調査日数	日	12	5	10	10	100.0%	4	
	成果	① 試掘調査結果に基づく本発掘調査有無の判断件数	件	3	2	2	3	150.0%	2
		② 分布調査報告書の刊行	冊	1	1	1	1	100.0%	1

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	3,163,408	3,356,826	8,814,000	7,631,790	127.4%	12,150,000
	①国庫支出金	円	1,500,000	1,300,000	4,000,000	3,500,000	169.2%	4,150,000
	②県支出金	円	750,000	650,000	2,000,000	1,750,000	169.2%	5,575,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			1,000			1,000
	⑤一般財源	円	913,408	1,406,826	2,813,000	2,381,790	69.3%	2,424,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	700	700	700	1,060	51.4%	1,060
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,818,900	2,818,900	2,818,900	4,268,620	51.4%	4,268,620
総費用(A+B)	円	5,982,308	6,175,726	11,632,900	11,900,410	92.7%	16,418,620	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を3件実施した。市内遺跡詳細分布調査として天神地区の分布調査を実施した。松倉城跡の詳細調査では、大見城平の試掘調査を実施した。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	2 目標どおり		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	③上位施策への貢献度	2 普通		
				①コスト効率	2 普通		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1次評価				③負担割合の適正化	1 適正である		
今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	越中三大山城のひとつである松倉城跡の学術的価値及び特徴を明らかにすることにより、その保存と活用を図る必要がある。	2次評価	不要		

1 基本項目	事務事業名	文化財保存事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	文化財保存事業				係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興			目	文化費
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)
		アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を行うために協力している。
	対象	市内の文化財。
	手段(活動指標)	市内の文化財の保存・活用のために整備を行うとともに、伝統的な祭りの継承に努める。
	意図(成果指標)	市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	3	5	3	2	66.7%	3
	②							
	① 市民意識調査満足度・郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである。	%	53.7	58.6	52.0	58.7	112.9%	65.0
	② たてもん協力隊参加者数	人	310	320	310	299	96.5%	350

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	4,007,948	6,946,248	11,120,000	9,587,189	38.0%	6,396,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	1,520,000	650,000	716,000	500,000	-23.1%	
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			500,000	500,000		3,000,000
	⑤一般財源	円	2,487,948	6,296,248	9,904,000	8,587,189	36.4%	3,396,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	4
	②年間所要時間	時間	600	1,100	1,100	1,240	12.7%	1,500
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	4,429,700	4,429,700	4,993,480	12.7%	6,040,500
総	費用(A+B)	円	6,424,148	11,375,948	15,549,700	14,580,669	28.2%	12,436,500

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に米騒動100年イベントを開催 ・小学生向けの米騒動に関するリーフレットの作成 ・たてもん祭りでは、たてもん協力隊を広く募集し、運行に協力した。 ・たてもん祭りの運営支援及び後継者育成支援を行った。 ・「たてもんの森」プロジェクト植樹祭の開催 ・魚津高校講堂が国の文化財に登録された。 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性
②目的の妥当性						1 妥当である
③対象の妥当性						1 妥当である
有効性	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	①目標達成度	2 目標どおり
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	2 普通
効率性	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	国・県・市指定文化財や今後、保存すべき文化遺産に対して、現状把握を行い、保存・整備・活用について、検討する必要がある。 また、ユネスコ無形文化遺産に登録された「魚津のタテモン行事」について、保存・継承及びPRに努めなければならない。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業					係名	スポーツ係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	平成32年度	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				目	保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進				総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、オリンピックでは卓球競技、パラリンピックではボッチャ競技について、出場選手の事前合宿を誘致することで、選手と市民の交流の深化を図りながら、生涯スポーツの振興、観光客誘致等につなげる。また、オリンピック・パラリンピック種目の体験事業を行うことで、機運醸成を図り、生涯スポーツの振興を図る。	
	対象	オリンピックでは卓球競技、パラリンピックではボッチャ競技の出場選手団、体験事業については小中学生	
	手段(活動指標)	オリンピック組織委員会のホームページに魚津市のページを掲載するとともに、インバウンドで交流のある台湾、またボッチャ銀メダリストの藤井友里子さん等を介しながら、海外選手団との交渉を行う。 また、「あすチャレ!スクール」等、オリンピック・パラリンピック種目を体験事業を行う。	
	意図(成果指標)	東京オリンピック・パラリンピックそれぞれに出場する海外の選手団の合宿が行われ、選手団と市民との交流が図られる。また、体験事業により、東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成が図られ、スポーツへの関心が高まり、生涯スポーツに取り組む市民が増える。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① オリンピック組織委員会のホームページに魚津市のページが掲載された競技の数	件	—	—	2	0	0.0%	2	
	② オリンピック・パラリンピック種目の体験事業実施回数	件	—	—	3	3	100.0%	3	
	成果	① 合宿を誘致した件数	件	—	—	2	0	0.0%	2
		② 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	25.9	29.6	50.0	45.0	90.0%	50.0

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円			300,000	93,260		580,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円			300,000	93,260		580,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人			2	2		2
	②年間所要時間	時間			400	400		400
総費用	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円			1,610,800	1,610,800		1,610,800
	総費用(A+B)	円			1,910,800	1,704,060		2,190,800

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	卓球競技については、6月に組織委員会ホームページに掲載するためのIDとパスワードを取得し、自治体情報、体育施設情報、宿泊施設情報を関係施設等から情報を収集しながら、入力作業を進めた。10月には、富山県卓球協会にIF基準の適合確認を依頼し、基準に適合しているとの承認をいただいた。この適合確認や英訳作業も含め、全ての入力を2月に終え、4月以降、組織委員会でチェックを行い、その後公開となる予定である。	
	ボッチャ競技は、組織委員会ホームページに掲載するにあたり、同様の情報を入力することになるが、ボッチャ協会がIF基準への適合確認に対応する体制が取れ次第、確認してもらい、登録を行うことになっている。	
体験事業については、「あすチャレ!」スクールにより車いすバスケットボールの体験を東中、西中、上中島小の3校で実施した。		

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性			A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性
②目的の妥当性						1 妥当である
③対象の妥当性						1 妥当である
有効性			A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
効率性			B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	誘致に向けては、卓球競技、ボッチャ競技ともに外へのPRと、海外とつながり関係者等の掘り起こしが必要である。体験事業についても、全ての小中学校で開催できるよう努めていく。		

1 基本項目	事務事業名	たてもんと全国植樹祭レガシー事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	文化財保存事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載なし
		根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)
		アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	◆「たてもんの森」プロジェクト事業：平成29年度から3か年計画で地元産の木材でたてもんを製作することを目指して植樹し、「たてもんの森」を整備。 ◆後継者育成事業：祭りを支える伝統技術を伝承していくための後継者の育成経費を支援。 ◆運営支援事業：祭りの恒常的開催のため運営経費を支援。 ◆たてもん調査・資料収集、ユネスコPR事業：祭りの由来歴史に関する写真等の調査収集を実施
	対象	魚津市在住の小学生～大人
	手段(活動指標)	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進
	意図(成果指標)	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① たてもんの森植樹祭参加者数	人	—	—	200	81	40.5%	150	
	②								
	成果	① 市民意識調査満足度・郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである。	%	53.7	58.6	52.0	58.7	112.9%	65.0
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円			6,404,000	5,891,972		6,131,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円			6,404,000	5,891,972		6,131,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人			2	2		2
	②年間所要時間	時間			800	800		600
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円			3,221,600	3,221,600		2,416,200
総費用(A+B)	円			9,625,600	9,113,572		8,547,200	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・8月4日、5日開催のたてもん祭りの開催にあわせて、引手のボランティアを募集、299人の参加を得た。 ・10月28日「たてもんの森」プロジェクト植樹祭を開催。親子参加者44名、その他企業関係者を含め81名の参加者を得た。 ・たてもん保存会へ祭りの運営支援を行った。 ・たてもん保存会へ後継者育成のため練習用の太鼓や笛、衣装を購入するための支援を行った。 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性			A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性
②目的の妥当性						1 妥当である
③対象の妥当性						1 妥当である
有効性			A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
効率性			B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	植樹イベント参加者の増と植樹会場の計画的な整備などを長期的視野に立って考えていく。	2次評価	